

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	2
学年	2年	類型	商業科		
教科書(出版社)	詳説日本史B(山川出版)				
副教材(出版社)	プロムナード日本史(浜島書店)				
授業の概要	教科書に沿って本文の内容(日本史概観)を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景や展開、歴史的意義の理解を図る。				
授業の目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 日本文化のあけぼの (1)文化のはじまり (2)農耕社会の成立 (3)古墳とヤマト政権 2 律令国家の形成 (1)飛鳥の朝廷 (2)律令国家の成立	以下の項目に関して、文化的特質を理解する。 ・旧石器文化、縄文文化、弥生文化など、原始時代の人々の生活や文化を理解する。 ・古代天皇制の確立と古代前半の政治情勢、律令制度を理解する。		
	2 学期	(3)平城京の時代 (4)天平文化 (5)平安王朝の形成 3 貴族政治と国風文化 (1)摂関政治 (2)国風文化 (3)地方政治の展開と武士 4 中世社会の成立 (1)院政と平氏の台頭 (2)鎌倉幕府の成立 (3)武士の社会 (4)蒙古襲来と幕府の衰退 (5)鎌倉文化	以下の項目に関して、古代貴族社会から中世武士社会への推移を理解する。 ・律令制度の確立と政界の対立を理解する。 ・摂関政治による貴族社会の熟成と凋落、荘園制の仕組みについて理解する。 ・鎌倉幕府の成立過程と公武二重支配の構造について理解する。 ・元寇についてその歴史的意義を考える。		
	3 学期	5 武家社会の成長 (1)室町幕府の成立 (2)幕府の衰退と庶民の台頭 (3)室町文化 (4)戦国大名の登場 6 幕藩体制の確立 (1)織豊政権 (2)桃山文化 (3)幕藩体制の成立 (4)幕藩社会の構造	以下の項目に関して、中世から近世武士社会、幕藩体制の確立を学習する。 ・室町幕府の成立過程について理解する。 ・応仁の乱が与えた影響と戦国時代という実力社会が到来した過程を考察する。 ・織田信長と豊臣秀吉の統一事業、徳川家康の江戸幕府成立について理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	日本の歴史の概観への関心と課題意識を深め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きるようとする資質を養う。	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通し、歴史的事象を追究する方法を身に付ける。	日本の歴史についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	地理歴史		科目	地理 B	単位数	2
学年	2 年		類型	商業科		
教科書 (出版社)	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)					
副教材 (出版社)	パワーアップ整理と演習(帝国書院) 最新地理図表GEO (第一学習社) 地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門)					
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を展開する。重要な地名は地図帳で確認し、空間的な認識を深める。またワークブックでの作業を通じて、地理的技能を磨くとともに、図表を活用し視覚的にイメージが湧くよう心掛ける。					
授業の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付ける。					
年間 学 習 計 画	学習内容 (単元・項目)			学習目標		
	1 学 期	1 地理情報と地図 (1) 現代世界の地図 (2) 地図の種類とその利用 (3) 地理情報の地図化  2 地図の活用と地域調査  3 自然環境 (1) 世界の地形		・地球儀の活用、様々な時代や種類の世界地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、各時代の人々の世界観をとらえるとともに、地図の有用性を認識し、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身に付ける。  ・直接的に調査できる地域を、地図を活用して、多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身に付ける。		
	2 学 期	(2) 世界の気候 (3) 日本の自然の特徴と人々の生活 (4) 環境問題 4 資源と産業 (1) 産業の発達と変化		・世界の地形、気候、植生などに関する諸事象について、それらの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察するとともに、現代世界の環境問題を理解する。  ・世界の資源・エネルギーや農業などに関する諸事象について、それらの分布や動向などについて考察するとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を理解する。		
	3 学 期	(2) 世界の農林水産業 (3) 食料問題 (4) 世界のエネルギー・鉱産資源 (5) 資源・エネルギー問題 (6) 世界の工業		・世界の資源・エネルギーや農業などに関する諸事象について、それらの分布や動向などについて考察するとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を理解する。		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解		
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。		
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					